

# 校内研修計画

甲州市立 祝小学

校

## 1 学校課題

本校は、全学年1クラスで、各学級20名前後の小規模校である。児童は、明るく素直で、仲が良く、異学年の交流の場もあるため、家庭的な雰囲気も見られる。学習面でも、真面目に取り組む姿が見られる。

これまでの6年間、「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童をめざして」取り組んできた研究を積み重ねてきたことで、児童に「書く力」や「表現力」がついてきており、国語科としては成果があらわれてきている。昨年度からは国語科と算数科においても研究を進めてきているので、今年度、算数に重点を置き、今まで研究してきた「書く活動」と「学びの場」を有効活用して、「思考力」「表現力」を高めていきたい。

## 2 研究主題

「自分の考えを自分の言葉で伝えることのできる児童の育成」

～算数科において「書く活動」と「学びの場」の活用を通して～

## 3 主題設定の理由

本校の学校教育目標である「心身ともにたくましい子どもの育成 ～かしこく・やさしく・たくましく～」を具現化するために、私たち教職員は、自己の指導技量を高められるよう、日々教材研究を行い、わかる授業、楽しい授業の実践に努め、学校内外の研修にも励んでいるところである。

今年度は、国語科での研究の成果を踏まえ、算数科において、自分の考えを明確にもたせる「書く活動」と、それを友だち同士で交流する「学びの場」を取り入れた実践を行い、児童が集団の中で自ら考え判断し、考えを表現する力を高める授業構造を継続的に追究していきたいと考え、研究テーマとサブテーマを設定した。

## 4 研究の具体的内容と方法

### ①具体的内容

○算数科において「自分の考えを自分の言葉で伝えることのできる児童をめざして」、理論研究と「書く活動」と「学びの場」の有用性について

○Q-Uの実施（5月、11月）と分析・活用の充実

○全国学力・学習状況調査の分析と課題

○県学力把握調査の分析と課題

○教育課程講習会の環流報告

### ②方法

○2本の授業を共同研究とし、ブロックで検討する。

○研究授業は、共通の視点【自分の考えを自分の言葉で伝えることのできる児童】をめざし、書く場面とお互いの考えを交流して学び合う場面を授業の中に入れた実践を行う。

○年度初めに、児童の算数学習アンケートを行う。その結果に基づき、児童の「自分の考えを伝える力」の向上のために取り組むことを学校体制で確認し、年間を通して実施していく。年度末に児童の変容を見取り、1年間の取り組みの反省を行う。

○個に応じた指導の充実をさらに推進するために、Q-Uを実施し、分析・活用をしていく中で児童理解を深める。

○全国学力・学習状況調査と県学力把握調査の結果をもとに、課題を確認し、改善策をたて、実践する。

## 年間校内研修計画

研究主任 柏原 真澄

回数	月 日	研究の内容	T・C要請
第1回	4月16日	研究主題・内容・方法等の検討	
第2回	4月23日	研究計画・組織の確認	
第3回	4月30日	研修計画日程の確認，算数学習アンケートについて	
第4回	5月14日	算数学習アンケート項目の確認	
第5回	5月28日	算数学習アンケート考察と今後の取り組み	
第6回	6月11日	Q-UのK13法による分析について Q-Uの分析と今後の取り組み①	
第7回	6月25日	Q-Uの分析と今後の取り組み②	
第8回	8月22日	教育課程講習会の還流報告 県学力把握調査の分析・改善策について 全国学力状況調査の分析・改善策について 勝沼ブロック交流授業について①	
		「書く活動」「学びの場」を取り入れた算数科の授業・指導案についての理論研究	○
第9回	9月 3日	共同研究の授業案づくり (3・5年)	
第10回	9月10日	第5学年授業案検討	
第11回	10月15日	授業実践(共同研究・研究授業)5年 新藤 徹	○
第12回	10月27日	勝沼ブロック交流授業について②	
第13回	11月19日	第3学年授業案検討	
第14回	12月 3日	授業実践(共同研究・研究授業)3年 志村 克人	○
第15回	12月15日	第2回算数学習アンケートについて 研究のまとめ方について	
第16回	1月28日	2回目のQ-U実施後の振り返り 算数学習アンケートの振り返り 研究の成果と課題	
第17回	2月10日	研究のまとめ，来年度の方向性	
第18回	2月25日	紀要の作成	

